

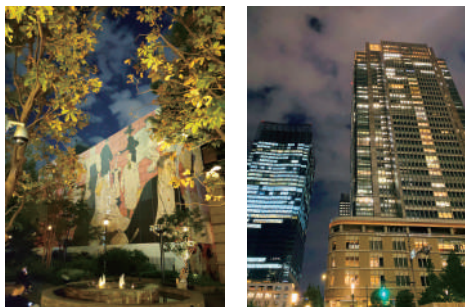


【表紙写真】

多くの人が行き交う東京駅周辺。最近、駅舎をバックにウェディングフォトの撮影スポットとしても人気です。夜はライトアップされ夜景がきれいですので、ぜひ足を止めてみてはいかがでしょうか。

おすすめ！ 東京駅周辺の夜散歩

東京駅に近接するビル「KITTE」6階の屋上庭園は、駅舎を見下ろすことができるおすすめの写真スポット。約1,500㎡もある広大な庭園は憩いの場としても人気です。夜は、近隣のビルを含めて夜景が間近に見えて、とってもきれいです。また、東京駅周辺はすてきな建物がたくさんあり、昼間とはまた違った雰囲気です。東京にお越しの際はぜひ、夜の散歩もしてみてください。



「小さな親切」誌は、季刊発行

春号・5月、夏号・8月、秋号・11月、新春号・1月の予定です

2023年11月1日発行 通巻532号

編集・発行人 鈴木恒夫

発行所 公益社団法人「小さな親切」運動本部
〒101-0061東京都千代田区神田三崎町2-20-4
TEL.03-3263-2866 FAX.03-3263-3838
<https://www.kindness.jp/>

印刷所 広研印刷株式会社
©無断転載禁止 落丁、乱丁はおとりかえいたします。



商 店や住宅が立ち並ぶ街のあちこちに貼りめぐらされた“優勝おめでとう”の垂れ幕や貼り紙。そして鳴り響くお祝いの曲。今年8月末、夏の甲子園大会で全国優勝を成し遂げた慶應義塾高校の快挙に、どちらかという閑静な「日吉」（神奈川県横浜市）の街に、お祭りのような声や音が鳴り響いた。

東急電鉄東横線の日吉駅。駅の東口のイチョウ並木を入れれば、そこが慶応の学舎。西口に扇状に広がっているのが、商店街などの繁華街。私は慶応と線路を挟んで反対側の小高い丘の上の小住宅に住んで60年近いが、地元でのこんな歓喜の盛り上がりは初めて目と耳にするものだった。

野球をはじめ、様々なスポーツが人間社会にもたらしてくれるものの素晴らしさ。サッカー、ラグビー、バスケットボール、バレーボール、ソフトボール、柔道、剣道、弓術、テニス、バドミントンなど……。挙げていけばキリがない。これらの他の種目に心血を注いでいらっしゃる方には申し訳ないが、お許しください。スポーツに共通する精神の価値はすべて同じと私は思う。

私 も小中学生の頃から、サッカーをはじめ野球、バドミントンなど若い血を湧きたたせてきたものだ。スポーツを通じて築いた友達との輪と精神。毎日新聞の政治記者だった昭和の中頃、新聞各社の政治部員による野球の親善試合が、当時の佐藤栄作内閣の官房長官室が主導して行われたことがあり、私は毎日新聞チームのキャッチャーで活躍。当時の木村俊夫内閣官房長官が、勝ち進む私に「鈴木さん、あんた政治部員じゃなくて野球部員じゃないの」などと、目を丸くして言ったのを今でも覚えている。

衆議院議員当時は、サッカーの議員連盟をつくり、在日韓国人チームとの親善試合や、中国・大連まで日中友好親善交流試合に出向いたことも。

冒 頭に書いたように、これほどスポーツが盛んな国は世界でもないだろう。日本社会の礎^{いしづえ}づくりの源泉。厚生労働省が昨年9月に発表した100歳以上の日本人は、ついに9万2,139人と過去最多。「人生100年時代」をもたらしつつあるのは、スポーツのみならず健康・医療・社会保障などのほか、教育・地方自治など様々な日本社会の“あり方”があるのだろうが……。

加えて、「小さな親切」運動の会員もご長寿の方々が多くおられる。「親切」は心も体も健康に、まさに「情けは人の為ならず」。私も80代を迎え、体力的には衰えを感じるが、『日本の美風の蘇生と新生』の想いは変わりません。これからも、会員・地域組織の皆様とともに運動を推進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

なお、私が9年間執筆してきたこのエッセイは、来年から当運動の役員が交代で寄稿することになりました。長年にわたりお読みくださり、感謝いたします。次号からのエッセイもぜひ、ご期待ください！

“優勝”にわく「日吉」の地で思う

代表
鈴木恒夫